



夏休みの最初に考えてみよう！

校長 松永 裕幸

三年生は9回目、一年生でも7回目の夏休みが間もなくやってきます。皆さんはこれまでの夏休みで、とても充実していて後悔がない夏休みを過ごした経験があるでしょうか。ほとんどの人が何か心残りのある、終わり頃になって反省をしてしまう夏休みを繰り返してきたのではありませんか。自分の成長の中で大切な役割を占める時期の貴重な40日間以上の時間を有意義なものにするためには、どのようなことを心がければよいのでしょうか。だれでもが必要と考える充実した夏休みを送るために、今日はその過ごし方について考えてみたいと思います。

なぜこれまでの何回かの夏休みが、いつも満足できないままに過ぎてしまったのかを考えましょう。最大の理由として、きちんと計画が立てられていなかったことが考えられます。学活の時間等に全員が計画を立てたと思いますが、自分のための、自分に合った計画になっていたでしょうか。計画を立てるときはこんなことを実現したい等、目的をしっかり定めることから始まります。人間はどうしても精神的に弱いものですから、始めは決心していても、つらいことや面倒なことから逃げようとしてしまいます。その弱さを克服するには、弱さを縛るために立てる計画が必要です。計画と目的、さらにその上の目標について考えましょう。今アメリカの大リーグで活躍している日本人の野球選手が多くいますが、彼らの目的は大リーグの試合に出て活躍することだけではないと思います。大リーグの試合で活躍するために、華やかな活躍の裏に、想像以上の大変

な努力が必要なことは誰でも気が付いていると思います。単に優れた感覚や夢だけでは、目標達成することはできません。最も必要なことは、なぜこのような努力をするのかという、はっきりした目的を持つことです。ただその目的も、「何のために」という目標をはっきりさせておくことが大切です。安易な目的の設定だけでは、達成されるとそれが当たり前になって、次の向上のための役に立ちません。皆さんの場合で考えてみると、たとえば高校に入りたいという目的だけでは、合格した後に何をしたいのかわからないという結果になります。目的の背景には、さらに大きな「何をするために」というような目標が必要だということです。自分の特性に基づいた目標を達成するための目的を設定し、そこに到るための具体的な計画を立てる。この人生に必要な生き方を夏休み前に考えてみてください。

最後に、この夏休みという長期の休みの中では、自己判断・決定をする場面が多いはずですが、その場面で、自分を甘やかすことを優先させては、目標・目的を達成できないことは当然ですが、安全に関する判断・決定を誤れば、取り返しのつかない事件・事故に繋がることになります。そしてそのような危険な場面は、遊びなど自分を甘やかす場面に多く存在するのです。気持ちが緩んでいるときこそ、正しい判断・行動ができるようにしていきましょう。自分の行動の結果は誰の責任にもできません。全ては自己責任です。その事をしっかりと心の中心に置き、この夏休みが有意義な期間になるように祈っています。8月21日の出校日、9月1日の始業式に、皆さんの元気な笑顔を見せてください

文化祭・合唱コンクール開催 7月11日(金)

毎年7月に合唱コンクール、11月に文化祭が開催されていましたが、今年度は文化祭・合唱コンクールの同日開催で末吉総合センターにて行われました。午前の文化祭で1年生は、財部町を盛り上げるために自分たちに何が出来るか考え、行動する地域プロジェクト「ちいぷろ」の発表。2年生は平和学習で学んできた1600年～2025年までの日本と世界の戦いの歴史を平家物語の群読や寸劇を交えて発表。3年生は職場体験学習で学び感じたことを、ニュース番組形式というユニークな形での発表でした。また、校内ビブリオバトル決勝や吹奏楽部の演奏など盛りだくさんな内容となりました。午後の合唱コンクールは3年生が金賞、2年1組が銀賞を受賞し、2年1組が来年の冬に行われる春の祭典の出場権を得ました。また審査員による特別演奏も本格的な声楽にふれる良い機会となりました。



環境整備部の美化作業

7月6日(日)に環境整備部による美化作業が行われました。毎年、学校の南側の斜面を環境整備部の方々と美化作業を行います。今年は親子33名の参加で7時から8時30分の短い時間ではありますが、重機を提供していただいた上集組さま、西丸運送さまありがとうございました。



9月27日(土)には、全生徒保護者対象の親子美化作業もあります。みなさまの御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

親子ミニバレー大会・1年レク

7月12日(土)の午後に親子ミニバレー大会が行われました。1～3年の親子総勢98名が学級対抗のチームに分かれてミニバレーで勝敗を競いました。優勝は3-1。熱中症が心配されましたが、天候にも恵まれ、実施することができました。その後は、1年生の学年レクリエーションも行われました。バレー大会で暑くなった後で、かき氷を食べました。夏のひと時を満喫する一日となりました。



SSWの三浦智子さん

7月より財部中学校(財部地域)のスクールソーシャルワーカー(SSW)が決定いたしました。三浦智子(みうらともこ)さんです。学校だけでは解決できない相談の手助けをしていただけの方です。福祉方面の関係機関やその他の関係機関との連携を担う方になります。

この他にもSC(スクールカウンセラー)が2名財部中学校へは来校相談が可能ですので、SCやSSWに相談したい事がありましたら、学校の方へ御連絡ください。

